
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年9月9日号

©2009年7月における中国の小麦市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年7月における小麦市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内価格は安定を保ちつつやや上昇

新麦の入荷以来、買付企業、加工企業、商人などの市場主体は、積極的に市場買付しており、新麦価格の安定した上昇基調となっている。白麦、紅麦、混合麦の国有企業の買付価格は、6月の各々1トン当たり1,754元、1,655元、1,728元比べ上昇し、7月は各々1,777元（前年同月比11.05%高）、1,704元（同12.9%高）、1,761元（15.24%高）であった。

2 国際価格は大幅下落

2009年7月は、米国、オーストラリアの小麦生産量が予想を超えたこと、大豆、トウモロコシ価格の弱含みの影響を受け、国際小麦価格は大幅に下落した。

メキシコ湾における硬紅冬小麦（ハード・レッド・ウィンター、蛋白質含有量12%）の平均FOB価格は、前月比10.12%安、前年同月比32.53%安の1トン当たり237.5ドルとなった。カンザス先物取引所の硬紅冬小麦（ハード・レッド・ウィンター）平均先物価格は前月比12.54%安、前年同月比35.52%安の同203.03ドルとなった。

3 内外価格差は縮小

2009年7月の米国メキシコ湾における硬紅冬小麦（ハード・レッド・ウィンター、蛋白質含有量12%）は人民元換算で1トン当たり174元安の1,623元と、国内優良小麦産地卸売価格を387元下回った。港着・通関後価格では、同2,409元前後と同期の優良小麦の消費地域における卸売価格に比べ同149元高となり、内外価格差は前月に比べ244元縮小し、本年3月以来最も縮小した。

4 小麦輸入は引き続き大幅増、輸出は大幅減

海関統計によれば、6月の小麦製品輸入量は、対前月比1.7倍、前年同月比197倍となる19.29万トンであった。単月輸入量では2005年7月以来最大となった。一方、輸出は、対前月比32.1%減、前年同月比4.5%増の1.25万トンであった。

2009年1～6月の小麦製品輸入は前年同期の76.3倍となる42.37万トン、輸出量は同63.9%減の8.39万トンとなった。

5 2009/10年度の世界の小麦生産量は消費量を上回り期末在庫量は増加

FAOの7月予測によれば、2009/10年度世界小麦生産量は、前年度比4.2%減の6.552億トン、消費量は同0.8%増の6.494億トンと見込まれ、生産量は消費量を580万トン上回り、期末在庫量は同2.7%増の1.919億トン、小麦貿易量は、同11.3%減の1.14億トンと見込まれている。